

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 12月 1日

事業所名 児童発達支援センターこじか園

|         |   | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                       |
|---------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である  | 7  | 0   | ・利用人数に応じて、部屋の割り振りを行い、適切なスペースが保てるようにしている。  |  |
|         | 2 | 職員の配置数は適切である   | 7  | 0   | ・配置基準は満たしている。   |  |
|         | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている             | 7  | 0   | ・個々に合わせた支援カードを使っている。また、必要に応じて個室での対応も行っている。                                      | ・環境面はバリアフリーで、保育室には壁面等、視覚的に情報過多にならないよう、掲示物は控えている。               |
|         | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている   | 7  | 0   | ・毎日、居室の清掃をするとともに、使用する空気清浄機（加湿器）やエアコンなど清潔に保てるよう配慮している。                           | ・感染症に配慮し、玩具の消毒を毎日実施している。                                       |
| 業務改善    | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している  | 7  | 0   | ・朝の会やこじか園会議の中で、職員全体で業務改善案があれば検討している。  |  |
|         | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                              | 7  | 0   | ・月1回の親の会や評価表を基に、職員間で回答、改善に向けて話し合いを行っている。  | ・保護者からの意見は、直ちに反映できるよう取り組んでいる。<br>・行事毎にアンケートを実施し、反省や振り返りを行っている。 |
|         | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7  | 0   | ・各評価は毎年実施しており、掲示及びホームページでの公開を行っている。   | ・評価の結果を、今年度より、配布するようになっていく。                                    |
|         | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている   | 5  | 2   | ・外部評価は行っていないが、保護者通園の為、常に業務の様子を見ている。気になるところは、その都度、説明をしている。                       | ・今後、検討をしていく。   |
|         | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している  | 7  | 0   | ・園内にて、他部署の協力も得ながら、専門的な研修を定期的に行っている。また、法人全体の研修や外部研修（WEB等含む）にも積極的に参加し資質の向上に努めている。 |  |

|          |                                       | チェック項目   | はい | いいえ                             | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標                      |
|----------|---------------------------------------|--|----|---------------------------------|---|---|
| 適切な支援の提供 | 10                                    | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している   | 7  | 0                               | ・アセスメント及びモニタリングを行い、子ども及び保護者のニーズに基づき、個々に応じた対応方法を検討し、支援計画を作成している。               |   |
|          | 11                                    | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している   | 6  | 1                               | ・「TASP」を使用している。   | ・その他のアセスメントツールの使用についても検討していく。                     |
|          | 12                                    | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 7  | 0                               | ・児童発達支援ガイドラインに沿って、支援計画書を作成しており、保護者への聞き取りや、利用児の現状などを具体的に表記し、個々に応じた支援内容を設定している。 |   |
|          | 13                                    | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている  | 7  | 0                               | ・児童発達支援計画に基づき、集団保育や個別対応などの支援を行っている。   |   |
|          | 14                                    | 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 7  | 0                               | ・各グループ保育のプログラムについて、職員同士が意見を出し合いながら行っている。                                      | ・目標に基づいたの保育内容のマニュアル化を作成し、職員の経験値の差を埋められるよう作成をしている。 |
|          | 15                                    | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | 7  | 0                               | ・保育グループや保育士が固定しないように、柔軟に対応し、個々の発達に沿った療育を行っている。                                |   |
|          | 16                                    | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している   | 7  | 0                               | ・基本的な生活習慣の確立や、集団参加やソーシャルスキルなど、子ども一人ひとりの発達の状況に沿った計画書を作成している。                   |   |
|          | 17                                    | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している   | 7  | 0                               | ・毎朝の職員会議で1日の流れの確認や、週ごとの行事等の確認の他、園児や保護者の情報共有等を行い、適切な支援の統一を図っている。               |   |
|          | 18                                    | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している  | 7  | 0                               | ・支援終了後には、職員間での振り返りを行い、次の支援に活かせるようにしている。                                       |   |
|          | 19                                    | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている   | 7  | 0                               | ・支援した日は必ず個別記録に記入し、保育内容の検討の際、検証・改善に繋げている。                                      |   |
| 20       | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 7  | 0  | ・6か月毎にモニタリングを行い支援計画書の見直しを行っている。 |   |   |

|              |  | チェック項目   | はい | いいえ  | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標            |
|--------------|--|--|----|--|---|-------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 21   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                            | 7  | 0  | ・児童発達支援管理責任者が、事前に担当職員や関係者と話し合いをした上で、参画している。             |                                     |
|              | 22   | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている  | 7  | 0  | ・児童相談所や子育て支援などの関係機関との連携が必要な利用児については実施している。              |                                     |
|              | 23   | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 0  | 0  | 該当なし  | 該当なし                                |
|              | 24   | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている             | 0  | 0  | 該当なし  | 該当なし                                |
|              | 25   | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                | 7  | 0  | ・必要に応じて、関係機関連携の実施やサービス担当者会議への出席依頼、電話相談など、情報共有と連携を図っている。 |                                     |
|              | 26   | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                            | 7  | 0  | ・情報提供書や保育要録など、書面での情報共有や、必要に応じて、電話や直接面談を行い情報の共有を行っている。   |                                     |
|              | 27   | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                     | 6  | 1  | ・併行利用している事業所と、支援内容の共有など連携をしている。                         | ・県内での研修の企画等について、専門機関と協力しながら、検討していく。 |
|              | 28   | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある                                      | 2  | 5  | ・併行通園をしている園児がほとんどのため、それぞれの地域での交流は出来ている。                 | ・近隣の認定こども園等との交流ができるかどうか検討していく。      |
|              | 29   | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                      | 5  | 2  | ・同法人の他部署の職員が参加した内容を共有している。                              | ・自立支援協議会が主催する研修会へ、積極的に参加する。         |
|              | 30   | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                               | 7  | 0  | ・保護者通園のため、その都度家庭での状況や発達の状態など話をし、共通理解のもと、支援を行っている。       |                                     |
| 31           | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 7  | 0  | ・保護者講座で、全保護者を対象にペアレント・トレーニングを実施し、年長児の保護者には、ペアレント・トレーニングを行っている。 |   |                                     |

|            |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                  |
|------------|----|--|----|-----|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 7  | 0   | ・契約時に契約書及び重要事項説明書（利用者負担）の説明を行っている。運営規程はその基になるものとして伝えている。  | ・運営規程及び重要事項説明書については保護者が見える場所に掲示をしている。                     |
|            | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 7  | 0   | ・児童発達支援ガイドラインに基づき、支援計画書を作成している。また、保護者には支援内容を説明する時間を設け、同意を得ている。  |   |
|            | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている  | 7  | 0   | ・保護者通園のため、いつでも悩みを話せる環境である。また、個別の面談の希望がある場合は、ゆっくりと話ができるよう時間の調整を行っている。                                  |   |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している   | 7  | 0   | ・毎月1回親の会を実施し、保護者同士の話し合いの時間を設定している。また、卒園児の保護者からの体験談やアドバイスをもらう機会も設けている。                                 |   |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 7  | 0   | ・個別相談の希望表を掲示し、保護者が申込みをしやすいようにしている。また、希望があった場合は、速やかに日程の調整をしている。  |   |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している   | 7  | 0   | ・園だよりを毎月1回発行し、行事予定や連絡事項を発信している。   | ・保護者控室に、行事の1～2か月前までには要項や出欠確認などを掲示すると同時に、朝の連絡会にて発信を行っている。  |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している  | 7  | 0   | ・入園時及び、年度初めのオリエンテーションにて、個人情報の同意と許可の確認等をし、慎重に取り扱いを行っている。<br>・行事で個人撮影を行う際についてはSNS等への投稿を行わないよう注意喚起をしている。 | ・個人情報が載ったものを持ち出さないようにしている。また、情報書類は一定期間保管後、シュレッダーにて廃棄している。 |
|            | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている  | 7  | 0   | ・子ども一人ひとりにあった、伝達方法（写真、文字、などのコミュニケーションツール）を保護者と話し合いながら作成するなどの配慮を行っている。                                 |   |

|         |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標           |
|---------|----|--|----|-----|--|------------------------------------|
|         | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | 5  | 2   | ・センター全体で、秋祭り等を実施していたが、コロナの関係で中止となった。                           | ・今後の状況に合わせて、センター全体で取り組みについて検討していく。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 7  | 0   | ・各種マニュアルの整備を行い、必要な内容は保護者へ周知している。                               |                                    |
|         | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 7  | 0   | ・避難訓練を毎月1回実施し、センター全体でも訓練を行い、避難経路等の確認を行っている。                    |                                    |
|         | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | 7  | 0   | ・入園時のアセスメントやその後のモニタリング等で保護者に確認し、職員間でも情報の共有を図っている。              |                                    |
|         | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 7  | 0   | ・医師の指示書に基づき、給食担当と連携しながら対応している。                                 |                                    |
|         | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 7  | 0   | ・ヒヤリハットの事例は、職員間で直ぐに検討し改善策を考えて対応している。事例はセンター全体でインシデントとして共有している。 |                                    |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 7  | 0   | ・園内だけでなく、法人での研修や外部研修など積極的に参加している。                              |                                    |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 7  | 0   | ・身体拘束の事項を組織で検討し、対象となる子どもの保護者へ説明し同意を頂き、個別支援計画書に記載欄を設けている。       |                                    |

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。